

かながわ

No. 4

平成27年7月24日発行

発行人 吉田 秀志
 発行所 一般財団法人 神奈川陸上競技協会
 〒231-0012
 横浜市中区相生町1-18 光南ビル5F-B
 TEL 045-210-9660 FAX 045-210-9667
 HP <http://www.kanagawariku.org/>
 印刷所 株式会社Yuki Print

新法人の二期目に向けて

一般財団法人 神奈川陸上競技協会 会長 河野 太郎



一般財団法人神奈川陸上競技協会のこの広報誌も第四号を発行することとなりました。皆様には、日頃より、神奈川県の上陸競技の普及、強化、並びに各種大会の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

本協会も公益財団法人改革の流れの中で、一般財団法人として再スタートを切りましたが、いよいよ二期目に入りました。監督官庁の下で運営が行われた以前の組織とは違って、自らの手でルールを決め、それに基づいて運営するという新しい法人になりました。当初は、手探りの状況の中での運営でしたが、評議会・理事会の下、各種のルールを決め、しっかりとした運営ができるようになってまいりました。

日産スタジアムや等々力競技場、三ツ沢陸上競技場、そしてShonan BMW スタジアム平塚をはじめとする各種競技場を擁し、また皆様のご協力の下、大会の運営や審判に関しても、非常に高い評価をいただき、大きな陸上競技の大会がこれからも神奈川県で開催される予定になっております。

世界や日本の一流選手を地元で間近に見ることができるといえる環境を最大限に生かし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、神奈川県の実業団、高体連、中体連、マスターズの組織のご支援、ご協力が欠かせません。これからは神奈川県一体となって、前進して参りたいと思います。皆様の引き続きのご指導、ご協力をお願い申し上げ、二期目スタートのご挨拶といたします。

平成27・28年度 一般財団法人 神奈川陸上競技協会役員名簿

会長	河野 太郎	理事	菊地 晋司 (茅ヶ崎市)
副会長	野川 眞佐志	〃	地木 正樹 (平塚市)
専務理事	吉田 秀志	〃	八湯 川利之 (小田原市)
常務理事	金澤 健敏	〃	高橋 勝造 (秦野市)
常任理事	齋藤 裕昭 (総務委員長)	〃	鷹嘴 吉秀 (厚木市)
〃	小松 尾清 (競技運営委員長)	〃	神藤 昭嘉 (相模原市)
〃	鍵和田 正弘 (強化普及委員長)	〃	西館 健吾 (大和市)
〃	清水 実明 (競技場管理委員長)	〃	足立 徹 (伊勢原市)
〃	前田 憲一郎 (財務委員長)	〃	三橋 正充 (南足柄市)
〃	小出 敏之 (中郡)	〃	高橋 廣子 (座間市)
〃	山田 弘一 (普及部長)	〃	朝倉 文光 (海老名市)
〃	池田 克行 (高体連)	〃	鈴木 雄 (綾瀬市)
理事	皆川 敏明 (中体連)	〃	吉田 信男 (足柄上郡)
〃	田辺 豊 (川崎市)	〃	長谷川 勝己 (足柄下郡)
〃	荒川 稔 (横浜市)	〃	西山 博正 (高座郡)
〃	早川 克洋 (横須賀市)	〃	西口 輝美 (愛甲郡)
〃	君島 篤 (逗子市)	〃	齋藤 義夫 (実業団)
〃	畔柳 五郎 (三浦市)	〃	三上 夫 (マスターズ)
〃	金子 彰 (三浦郡)	監事	井上 壮
〃	小菅 春夫 (鎌倉市)	〃	相原 洋
			藤沢市 (藤沢市)

神奈川陸上競技協会 新役員 (平成27年5月)

顧問 芳賀 学 人 参与 瀧川 一 輝

退任理事 (平成27年5月)

芳賀 学 人 (副会長・常任理事)	齋藤 裕 昭 (横浜市)	鎌田 隆 夫 (綾瀬市)
瀧川 一 輝 (普及部長・常任理事)	金井 勝 政 (鎌倉市)	井上 文 夫 (愛甲郡)
平本 徹 (総務委員長・常任理事)	早船 弘 美 (相模原市)	八幡 満 夫 (藤沢市)
木村 新 一 (財務委員長・常任理事)	植木 武 (南足柄市)	藤宮 学 (中体連)

退任監事 (平成27年5月)

高橋 靖

ありがとうございました。今後ともご協力をお願いいたします。

神奈川県陸上競技協会創立 80 周年記念式典・祝賀会を終えて

専務理事 吉田 秀志



平成 27 年 5 月 31 日神奈川県陸上競技協会創立 80 周年記念式典・祝賀会は、無事滞りなく終了いたしました。これも偏にご臨席賜りました関係各位の皆様のおかげと感謝申し上げます。

平成 17 年の創立 70 周年記念事業では、記念誌を発行しました。70 周年記念誌では、主に 50 周年以降の 20 年間の記録を主な内容として編集いたしました。そして、式典・祝賀会は、創立 80 周年時に実施しようと計画いたしました。

80 周年記念事業に向けて毎年計画的に積み立てをすることが平成 22 年の理事会・代表委員会で承認されました。併せて記念事業の内容を「式典・祝賀会の実施」「記念誌の発行」とすることも承認されました。この記念事業に向けて平成 26 年から準備内容、業務分担、日程、予算書等の作成にはいりました。そして、平成 26 年 4 月から「記念式典・祝賀会準備委員会」「記念誌編集委員会」の 2 つの準備委員会を立ち上げました。ここでは、創立 80 周年記念式典・祝賀会の準備を中心に報告させていただきます。

開催日程は、公務で繁忙を極める会長の都合と相談して決定いたしました。そして神奈川県協を支えていただいている役員の方々々が式典・祝賀会に出席しやすいよう定時評議員会と理事会を同日に開催することにいたしました。会場は、他の使用団体が入らない全館が終日貸し切り可能な中規模の会場に決定いたしました。

準備は、つぎのような手順、内容で行いました。

1 準備委員会開催(平成 26 年 4 月～平成 27 年 5 月 計 12 回)

2 主な準備日程と内容

- | | |
|--------------|--|
| 平成 26 年 10 月 | 功労賞受賞者・感謝状受賞団体名簿作成 功労者住所調査と名簿作成
来賓関係住所調査と名簿作成 |
| 平成 26 年 12 月 | 準備業務分担決定 前日・当日業務分担決定 進行細目の決定 来賓の決定
来賓挨拶者決定 表彰状の文面決定 各種住所シール作成 |
| 平成 27 年 2 月 | 表彰状印刷 案内状・招待状印刷 表彰者決定通知発送
会場業者打ち合わせ 会場レイアウト決定 |
| 4 月 | 案内状・招待状発送 必要物品購入 賞状用筒・紙袋購入 筆耕依頼
出欠調査 |
| 5 月 | 会場席次表作成 席次シール作成 プログラム冊子印刷
受賞者代表謝辞者決定 代表受賞者決定 乾杯依頼者決定
会場業者最終打ち合わせ |

特に煩雑だったのは、功労賞対象者の洗い出しでした。昭和 61 年から平成 27 年(1986 年～2015 年)までの 30 年間に本協会役員を 10 年以上歴任された方を洗い出しました。70 周年記念誌や過去の役員名簿を引っぱり出して調査いたしました。間違いがあつてはいけないので慎重に何度も精査し、名簿一覧表完成に 1 ヶ月以上かかりました。また、表彰状の印刷を 2 回ほどやり直しました。理由は、様々な状況があったので、ここでは触れませんが、早め早めに準備を進めていたため大過なく対応することができました。各名簿作成、住所一覧表及びシール作成、会場席次シール作成、案内状・招待状の発送、出欠調査の集計等々は、陸協事務員の松村さん、沼田さんの献身的なご協力により予定通り進めることができましたことに本当に感謝しています。誠にありがとうございました。前日準備と当日の準備・運営を手伝っていただいたのは、総務委員会、財務委員会、競技運営委員会の各委員 30 名の方々でした。式典・祝賀会の 1 週間前に会場の「ワークピア横浜」で打ち合わせを 1 回いたしました。1 回の打ち合わせで大丈夫かと内心心配いたしました。当日は、午前 9 時からの会場準備に始まり 13 時からの定時評議員会、13 時 30 分からの新理事会、16 時からの記念式典、17 時 30 分からの祝賀会がお開きになる 19 時 30 分まで滞りなく運営することができました。各委員の方々の献身的なお力添えのお陰と心から感謝申し上げます。

もう一つの記念事業である「80 周年記念誌」は、平成 28 年 3 月発刊にむけて編集作業を進めています。4 月には関係各位にお届けできる予定です。

神奈川県陸上競技協会は、創立 80 周年を節目に 90 周年・100 周年に向けて新たな気持ちで神奈川県陸上競技の普及・振興並びに競技力の向上を図り、神奈川県スポーツ文化の進展と県民の心身の発達に寄与するよう努力していく所存です。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。

功労賞を代表受賞して



顧問 内野 慎 吾

神奈川県陸上競技協会創立 80 周年記念するよき日に当たりまして、このたび私が同じ仕事に尽力された仲間たちの受賞者を代表していただいたことに、いまだ信じ難い気持ちであります。

私の場合、神奈川県陸協の仕事にたずさわるようになりましてから、間もなく 25 年になるうとしております。長いような短いような 25 年でした。これもひとえに皆様方や諸先輩のご支援ご指導ご鞭撻の賜物であり、この機会に謹んでお礼を申し上げる次第です。

今後とも、この光栄を汚すことのないよう、さらに神奈川県陸協の発展のために微力を尽くす覚悟であります。ご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第 21 回アジア陸上競技選手権大会出場選手（神奈川県選手）

期 日：平成 27 年 6 月 3 日（水）～ 7 日（日） 場 所：武漢（中国）

氏 名	性別	所 属	出場種目ならびに成績		
谷 口 耕太郎	男	中央大学	200m 決勝	20.69 (風+1.0m/s)	4 位入賞
古 谷 拓 夢	男	早稲田大学	110mH 予選	14.15 (風-0.1m/s)	
高 張 広 海	男	日立 ICT	走高跳	2m20	4 位入賞
長谷川 大 悟	男	日立 ICT	三段跳	16m36 (風+0.1m/s)	6 位入賞
山 内 愛	女	大阪成蹊大学	やり投	45m00	10 位

中国（武漢）で行われた第 21 回アジア陸上競技選手権大会（2015 年 6 月 3 日～ 7 日）に㈱日立 ICT ビジネスサービス（本社 横浜市戸塚区）より 2 名が日本代表として出場しました。

◆高張選手

日立 ICT 陸上競技部所属の高張広海です。

日頃より多くのご支援を頂きありがとうございます。

今年度初めて世界選手権の標準記録を突破し、本大会の優勝が日本代表選考に大きく関わる大会でありました。

しかし、実力通りの力が出せず 2 m 20 で 4 位という結果でした。

記録や順位と共に自分自身の弱さに対して、悔しいという気持ちしか出てきませんでした。

力不足という現状をしっかりと受け止め、世界という舞台で戦えるようこれからも日々精進してまいります。今後ともよろしくお願い致します。

◆長谷川選手

日立 ICT 陸上競技部所属の長谷川大悟です。

日頃より沢山のご支援を頂き、感謝申し上げます。

今回、中国の武漢で行われましたアジア選手権では、自己ベストの更新およびメダル獲得を目標としていましたが、結果は 16m36 の自己ベストタイ記録で 6 位入賞でした。

周りの方のサポートのお陰で、不安なく自信を持って試合に臨むことができたにも関わらず目標に届かず、悔しく、申し訳ない気持ちでいっぱいです。今年も、まだ大きな試合が続くので、より高みをめざし、世界で戦える力をつけていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。



第 28 回ユニバーシアード陸上競技大会出場選手（神奈川県選手）

期 日：平成 27 年 7 月 8 日（水）～ 12 日（日） 場 所：光州（韓国）

氏 名	性別	所 属	出場種目ならびに成績		
谷 口 耕太郎	男	中 央 大 学	200m	21' 17 (風 -2.5m)	7 位入賞
			4 × 100mR	39'08 (4 走)	優勝
松 永 大 介	男	東 洋 大 学	20kmW	1° 22' 06"	3 位入賞
上 原 明悠美	女	松 山 大 学	ハーフマラソン	1° 15' 35"	3 位入賞
出水田 眞 紀	女	立 教 大 学	ハーフマラソン	1° 16' 09"	4 位入賞
山 内 愛	女	大阪成蹊大学	やり投	50m59	10 位

今回より各郡市陸上競技協会の紹介を掲載することとなりました。

第 1 回目は、川崎市にお願いしました。

こんにちは！川崎市陸上競技協会です。

ご存知のように、川崎市陸上競技の拠点である等々力陸上競技場は、川崎フロンターレの本拠地でもあるため、陸上競技大会は変則的な競技日程などで開催しています。また、平成 25、26 年度の 2 年間は、メインスタンド改修のため、仮設スタンド設置により、跳躍ピットが使用できないことから参加人数を制限するなどして大会運営を行ってきました。

平成 27 年 3 月にメインスタンド工事が終了し、4 月から跳躍種目の人数制限もなくなり、変則的な競技日程は避けられませんが、本来の大会運営を行っています。

平成 27 年度事業から、特徴的な事業について 6 つ紹介します。

まず、5 月のゴールデングラプリ陸上です。改修なったメインスタンドとともにこの大会が等々力に帰ってきました。市内の小中学生や高校生には、一流競技者のパフォーマンスを間近に見ることのできる貴重な場となっております

二つ目は、等々力陸上競技場を発着とする川崎国際多摩川マラソン大会です。競技場を発着とするロード競技は数少ないので、参加応募が多すぎて、2～3 日で締め切らざるを得ないのが悩みというところです。

三つ目は、原則として毎月 1 回の無料開放日です。市陸協が施設・設備使用料を負担し、市陸協登録者に活用してもらい、競技力向上に役立ててもらおうとするものです。中学生や高校生を中心に、用器具を必要とする走高跳、棒高跳、砲丸投、ハードルなどの練習に励んでいます。

四つ目は、小学生陸上競技教室です。4 月から 11 月まで 14 回程度開催しています。川崎市スポーツ協会認定のジュニア育成事業として、陸上競技の楽しさと正しい技術習得を目的に普及を図っています。

五つ目は、高校生長距離普及・強化練習会です。市教育委員会、高校顧問の協力をいただき、平成 26 年 12 月から、高校の長距離選手の底辺拡充・育成・強化を目的に実施しています。今後は、市内全高校が参加し、定着化し、市内高校生のレベルアップとなり、ひいては「かながわ駅伝」につながるよう努めていきます。

六つ目は、優秀選手表彰です。全国大会で入賞した競技者の努力を讃え表彰しています。表彰式は、毎年、秋季市民大会で小学生の参加競技が行われる日に行い、多くの競技者が知ることにより、目標の一つに位置付けてもらいたいからです。

川崎市陸上競技協会も他の陸協と同様、審判員の高齢化は避けられない状況です。若返りを図るため、小学校、中学校の先生に積極的に審判員資格を取得してもらうよう働きかけています。また、理事についても、小学校、中学校、高校の先生各 3～4 人に委嘱しています。

市陸協は、今後も、県陸協と連携するとともに、市内の小中高の情報交換を密にし、「陸上競技の楽しさ」による普及と「正しい技術習得」による競技力向上がより一層図られるよう、市陸協を構成する審判員全員で取り組んでまいります。

(文責 理事長皆川)